

塩原発電所の状況について

【塩原発電所の概要】
揚水式発電所
所在地：栃木県那須塩原市
認可出力：900,000kW
有効落差：338m
最大使用水量：324m³/s
運転開始：平成6年6月

【八汐ダムの概要】
所在地：栃木県那須塩原市
発電所名：塩原発電所
種類型式：アスファルト表面遮水
壁型ロックフィルダム
高さ：90.5m
堤長：263.0m
竣工年月：平成4年11月
【八汐調整池の概要】
総貯水容量：1,190万m³
有効貯水容量：760万m³
湛水面積：0.47km²
常時満水位(標高)：1,048m
最低水位(標高)：1,028m

【蛇尾川ダムの概要】
所在地：栃木県那須塩原市
発電所名：塩原発電所
種類型式：コンクリート
重力式ダム
高さ：104.0m
堤長：273.0m
竣工年月：平成5年1月
【蛇尾川調整池の概要】
総貯水容量：1,050万m³
有効貯水容量：760万m³
湛水面積：0.32km²
常時満水位(標高)：700m
最低水位(標高)：670m



塩原発電所鳥瞰写真



八汐ダム・調整池全景

これまでの経緯

【行政処分を受けた理由】

初期湛水以降、八汐ダム調整池からの浸透流出が大きく、貯水量を保つため違法に水の補給貯留を継続するとともに、これを隠すため毎年の流入・放流量等のデータを改ざんして報告していたため。

【国土交通省による行政処分(平成19年5月16日)の概要】

河川法第23条許可(流水の占用)を取り消す。

河川法第24条許可(土地の占用)については、新たに許可を取得し、または全ての工作物を除却するまでの間に限り、効力を有する。

新たに流水の占有を行う場合は、処分の日から1年以内 に従前の許可内容どおりの流水の占有を可能とするための必要な調査を実施のうえ、是正計画を作成し、許可の申請を行う。

本件の経緯・内容につき、栃木県、沿川自治体および関係河川使用者に説明するとともに、その結果を国土交通省に報告する。

申請期限を平成20年5月15日から平成20年12月16日まで延期(平成20年5月15日お知らせ済み)

< 参考 >

昨夏の緊急・暫定使用

・平成19年7月26日 緊急・暫定使用に伴う河川法第23条の許可申請書を国土交通省に提出

・平成19年7月30日 国土交通省から緊急・暫定使用に伴う河川法第23条の許可書の受領

・需給逼迫に伴う塩原発電所発電実績

発電時間：平成19年8月22日 午後1時12分～午後7時9分
発電電力量：176.1万kWh
最大出力：30万kW

今夏の需給見通し

需給状況と見通し(平成20年7月3日お知らせ済み)

- ・今夏の最大電力は、通常の暑さの場合、6,110万kWの見込み。
- ・新潟県中越沖地震の影響により柏崎刈羽原子力発電所が停止しているものの、建設中の火力発電プラントの一部営業運転開始や休止中の火力発電プラントの運転再開に加え、発電所の増出力運転や試運転電力の活用、自家発の余剰購入等により追加供給力の確保に努めた結果、7、8月については、6,600万kW程度の供給力を確保できる見通し。

< 各月の需給見通し > (万kW)

	7月	8月	9月
需要(発電端1日最大)	6,110	6,110	5,520
供給力 (追加的な供給力を除いた場合)	6,630 (6,460)	6,670 (6,470)	6,340 (6,180)
予備力 (追加的な供給力を除いた場合)	520 (350)	560 (360)	820 (660)

* 需要は通常の暑さの場合(過去10年間の最大電力発生日における最高気温の平均を想定)

* 供給力は各月の平均値を表記(追加的な供給力を除いた値は経営計画発表時(3月26日)にお知らせ済み)

供給力および需給面の対策

< 追加的な供給力 > (万kW)

対策	7月	8月	9月
発電所の増出力運転	70	70	70
試運転電力の活用	30	40	40
自家発の余剰購入等	70	90	50
合計	170	200	160

< 需要面の対応 > (万kW)

対策	7月	8月	9月
計画調整契約 ^(注)	135	135	135
随時調整契約(推定)	123	123	123

(注)計画調整契約は最大電力見通しに織り込み済み

さまざまなリスクの顕在化により昨夏同様に電力需給が逼迫した場合、夏期電力ピーク対応の緊急措置として、塩原発電所の運転を実施する可能性がある。

< 参考 >

